

石川県七尾美術館だより

平成26年10月1日発行
編集・発行 (公財)七尾美術財団

第79号 (秋号)



ISHIKAWA
NANAO
ART MUSEUM

2014イタリア・ボローニャ
国際絵本原画展

「マリクの本」 アンナ・フォルラーティ (イタリア)



展覧会紹介

平成26年10月1日(水) ~

12月28日(日)

休館日については裏表紙をご覧ください

「2014イタリア・ボローニャ

国際絵本原画展」

11月7日(金) ~ 12月14日(日)

【会期中無休】

◆第1・第2・第3展示室

毎年春に、イタリアの古都ボローニャで児童書専門見本市「ボローニャ・ブックフェア」が開催されます。1964年に始まったこのブックフェアは、世界中の出版社が児童書の版權を売買する一方、作品を売り込みにやって来るイラストレーターたちで、いつも賑わっています。

「イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」は、このブックフェアが主催する「子どもの本のためのイラストコンクール」の入選作品を紹介する展覧会です。このコンクールは5枚1組のイラストを審査するもので、16歳以上であれば誰でも応募でき、出版経験のあるなしにかかわらず公平に扱われます。そのため、新人イラストレーターの登竜門ともなっており、1967年にコンクールが始まって以降、多くの絵本作家が誕生しています。また、絵本の専門家である審査員は毎年入

れ代わり、国籍も異なっているばかりでなく、その年の審査基準・方法までも委ねられます。

これにより、バラエティーに富んだ作品が選ばれ、コンクールは世界の絵本の最新動向を知ることのできる場として注目されています。そして、入選作品はブックフェア会場で展示され、新しい才能を発掘しようとする世界中の出版関係者の目に触れる機会を得るだけでなく、その後は日本の美術館を巡回し、私たちを楽しませてくれます。

原画展が日本に初めて紹介されたのは1978年。当館では1998年以降毎年開催し、今年で17回目を迎えます。世界59カ国、3190組の応募から選ばれた、日本人15名を含む、ヨーロッパ、アジア、中東、北米、南米、アフリカの23カ国、75組の作品を展示します。審査員を惹きつけ、彼らをその作品世界に引き込んだイラストとの出会いを、お楽しみください。

【今年の審査員】

アンナ・カスタニョーリ

(イラストレーター、作家、評論家/イタリア)



「キツネのテオの大ぼうげん」
スコット・ブルム (カナダ)



「花粉伯爵」
カトリン・クッツェル (南アフリカ)



「メンドリ・ロハのおはなし」
マルコ・ソマ (イタリア)



「シンディのあたらしいへや」
藤島つとむ (日本)



「日のあたる数字の野原からこんにちは」
トム・アイゲンフーフエ (ドイツ)

キティ・クロウザー (イラストレーター/ベルギー)

イザベル・ミニョース・マルティンス

(ブラネッタ・タンジェリーナ出版/ポルトガル)

エロル・ヴァン・ドウ・ヴェルト

(テキスタイル博物館/オランダ)

【特別展示】

今年の特別展示は世界で活躍する2人の日本人作家です。

【特別展示① 三浦太郎】

この春、コッライーニ出版(イタリア)から新作絵本『ワークマンステンシル』を出版し、ボローニャ近代美術館で出版記念展を開催した三浦太郎。絵本用にデザインしたワークマンのステンシルプレートと同じパーツを拡大し、日本のボローニャ展の為に新たに制作した大型作品などを展示します。



「大きな横たわる裸婦」

【特別展示② 刀根里衣】

刀根里衣は昨年、ボローニャ展に入選し、第4回ボローニャSM出版賞を受賞しました。この賞は35歳以下のボローニャ展入選者を対象としたもので、受賞者には賞金3万ドルと絵本の出版が約束されます。刀根は昨年のボローニャ展入選作「かえるのぴっぽ」をもとに、新作絵本『ぴっぽのたび』(SM出版・スペイン)を制作しました。この絵本原画18点に、これまでに出版された絵本6タイトルの原画18点を加え36点の原画を紹介します。



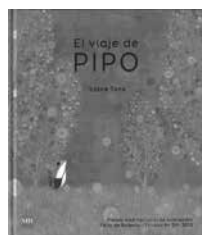
「かえるのプラスバンド」(Balivernes Editions, 2014)

【映像コーナー】

今年1月に行われたボローニャ展作品審査会、3月に開催されたブックフェアの様子に、審査員や入選作家へのインタビューを交えて紹介します。

【絵本コーナー】

展示作品や入選作家の絵本、ボローニャ・ブックフェアでラガツィ賞を受賞した世界の絵本、おすすめ絵本など約100冊をご覧いただけます。



『びっぼのたび』
刀根里衣
(Ediciones SM, 2014)



『ワークマン ステンシル』
三浦太郎
(Corraini Edizioni, 2014)

●●ボローニャ展関連イベント●●

絵本アニメ上映会 【入場無料】

世界の名作絵本アニメを上映します。絵本に登場するキャラクターがスクリーンを動き回ります。

開催日 11/8(土)、15(土)、22(土)、24(月・振)、12/6(土)、13(土)、14(日)

※12/14(日)はPMのみ

時間 11:00～11:40、13:00～13:40
会場 アートホール

かんたん絵本を作ろうよ! 【要観覧券】

不要となったポスターなどの裏面を利用して冊子を作り、ストーリーを考え、自由に飾りつけてオリジナル絵本を作ります。

日時 会期中毎週土・日曜日、14:00～16:00

対象 4歳～小学生(未就学児は保護者同伴)

定員 各日10名(要申込、先着順)

持ち物 不要なポスターなど

協力 絵本の会 もこもこ

会場 展示室内

ナイトミュージアム 【要観覧券】

いつもは「お静かに」と注意される展示室。でも「子どもと一緒に話しながら鑑賞したい」と思っている家族のための時間です。

日時 11/22(土)、17:00～20:00

対象 高校生以下の子どもを含む家族

定員 10家族(要申込、先着順)

※展示室が若干賑やかになる可能性があります。

「のまりん」の紙芝居劇場 【入場無料】

紙芝居の前に座ると、大人も子どももワクワクドキドキ。世界で紙芝居の魅力を伝える「のまりん」の豊かな表現をお楽しみください。

開催日 11/23(日・祝)

時間 11:00～11:40、13:00～13:40

出演 のまりん(野間成之氏)

会場 アートホール

おはなし劇場 【入場無料】

大型スクリーンに投影しての絵本の読み聞かせ、人形劇、ブラックシアターの上演で、物語の世界へ招待!! 簡単な手作りコーナーもあります。

開催日 11/29(土)

時間 10:30～11:30、13:00～14:00

協力 NPO法人ぽっかぽか

会場 アートホール

「かんたん絵本を作ろうよ!」 「ナイトミュージアム」の申込受付は10/25(土) 9:00より電話にて。



「ボノニア」
トニ・ペコラーロ (イタリア)



「ペンギンと黒い卵」
猫野べすか (日本)

★絵本だけじゃない!

今年もお楽しみ♪ボローニャ展グッズ★

ミュージアムショップコーナーではボローニャ展関連グッズを販売します。

図録や出品作品のポストカードはもちろんのこと、ボローニャ展ゆかりの作家によるパンダナ、マグカップなども販売します。また、特別展示作家のTシャツ、トートバッグ、バスタ皿やクリアファイル(A4サイズ・A5サイズ)なども取り扱います。

毎年人気のイタリア食材ではオリーブオイル、バルサミコ酢、ペースト(バジル・黒オリーブ他)アンチョビペースト、トマトソース、パスタなども販売します。

大好評の絵本販売コーナーでは、今年の入選作家による絵本や輸入絵本も販売いたします。人気商品は展覧会期終了前に売り切れてしまうこともありますので、どうぞお早めに!



◇観覧料

	一般	個人	団体
大高生	800円	350円	700円
			300円

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

「われら、能登ブランド絵師」

「うつしとられた風景」

12月19日（金）～平成27年2月15日（日）

◆第1展示室

「われら、能登ブランド絵師」

「近世に活躍したゆかりの画家」

「近世」という時代は、「中世」と「近代」の間に位置し、歴史学上では諸説ありますが、日本においてはおよそ安土桃山時代から江戸時代までを指すことが多いようです。つまり、織田信長が天下統一に本腰を入れ始めた16世紀の後半頃から、徳川幕府が倒れ明治政府が誕生した19世紀中頃までの約300年間ということになります。

その間、能登ではどのような画家たちが活躍していたのでしょうか。恐らく「この時代を代表するゆかりの画家」を1人挙げよ、といわれれば大多数の方が長谷川等伯（1539～1610）の名を出すのではないかと思います。

等伯は戦国時代の終わり頃、天文8年に七尾に誕生。若年時より能登で絵仏師として頭角を表し、30歳過ぎ頃に京都へ移住、数々の名作を描いて大活躍しました。桃山時代を代表する画家の1人であり、現在も大変な人気を誇ります。等伯が名実



「淫楽図」長谷川等誓 当館蔵

ともに「能登の画家ナンバー1」であることは、誰もが認めるところでしょう。

しかし、近世に活躍した「能登ゆかり」の画家は、無論等伯1人ではありません。その他にも能登を舞台として数多くの画家が活躍し、様々な足跡を残しています。

例えば、長谷川等誓（？～1636）。等伯とほぼ同じ頃に活躍したとされる画家ですが、詳細についてははっきりしていません。しかし、現存作品の内容などから、等伯に近い立場（一族もしくは弟子など）で、七尾を中心とした能登を拠点にした絵仏師だったと考えられています。多分等伯の京都移住後、七尾の長谷川派を支えていた画家だったのではないのでしょうか。

そして、江戸時代後期に活躍した画家の1人に山崎雲山（1771～1837）がいます。雲山は現在の羽咋市出身で、漁業を生業とする家に誕生。独学で絵を学び京都や諸国を巡って様々な知識人たちと交友、画技を深めます。独自の画風でひたすら制作を続ける一方、俗人との交わりを避けたことから、いつしか「孤高の画家」と呼ばれるようになります。

本展では、紹介した等伯や等誓、雲山など「能登出身」や「能登に作品を残している」といった、何らかのかたちで能登と関わりを持っている画家たちの作品を紹介します。



「虎鷹図衛立」多田宅兵衛 当館蔵

今回紹介するのは、ゆかりの画家全体からすればわずか一握りではありますが、その多彩な作品をお楽しみいただきたいと思います。

◆第2展示室

「うつしとられた風景」

「作家の心をつかんだ眺め」

「思い出の風景」といわれて、あなたはどのような景色を思い描きますか。旅先でばったり出会った美しい景色。人生の節目の舞台となった場所。懐かしき故郷の山野等々。誰しも忘れられない風景の2つや3つはあることでしょう。

その場所を脳裏の記憶のみではなく確実な記録に留めたい時、人びとは写真や映像、そして絵画など様々な手段を用います。

そして美術工芸の作家たちにとっては、「思い出の風景」も重要なモチーフの1つです。それぞれの得意とする表現手段を媒介として、彼らは自ら魅了された「思い出の風景」を、様々なかたちで表現してきました。

時には原風景に忠実に、またある時には別次元の世界のごとく表される風景画。それは制作者のみならず、観る者にも深い感動を与えるのです。本展では、当館所蔵品の中から作家たちによって表現された様々な風景の作品を紹介します。



「旭日図」橋本閑雪
（池田コレクション）



「古都金沢」村田省蔵

◇共通観覧料

	一般	個人	団体
大高生	350円	280円	280円
	280円	220円	220円

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

「等伯に続く長谷川派の絵師たち」

9月13日(日)「開催中」～10月26日(日)

春の「長谷川等伯展」に続く、特集展示です。石川・富山県内に現存する長谷川等誉や長谷川等言など長谷川派の作品6点に、等伯の信春時代作品2点、等伯養父・宗清の新発見作品1点、「複製松林図屏風」を加えた10点を紹介していますので、未見の方はお見逃しなく。

等伯養父・宗清の新発見作品初公開！



「日蓮聖人像」長谷川宗清(道浄)
高岡市・妙傳寺蔵

「絵のちから」近世から現代作家まで」

当館所蔵作品の内、近世・現代作家の絵画から、絵の持つ様々な「ちから」を紹介しています。



「朱盆に果実図」青木大乗
(池田コレクション)



「白い印象」中村静勇

◇共通観覧料

	一般	個人	団体
大高生	500円	400円	300円
	350円	300円	

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

友の会「美術講座」開催報告

七尾de再発見！パートⅡ

文化財と名水を訪ねて

近くてもなかなか行けない地元文化財を訪ねる企画の第2弾。梅雨の晴れ間の7月6日(日)、参加者19名でバスに乗り、旧3町(能登島町・中島町・田鶴浜町)を巡りました。

まずは能登島大橋を渡り、国指定史跡「須曾蝦夷穴古墳」と「歴史センター」を見学。ここは参加者の殆どが初めてとあって、皆さん興味深く観察され、古墳がつくられた7世紀中頃の、大陸と能登との交流に想いを馳せていました。

続いて旧中島町の「藤の瀬霊水公園」にて霊水を試飲。さすが「平成の名水百選」に選ばれただけあり、霊水は体に直ぐ溶け込むような癖のない優しい味で、多くの方が霊水を汲みに来られることに一同納得の様子でした。傍のお店では地元で作られた野菜などが販売。霊水で冷やした夏野菜はきつと格別に美味しそうですね！

次に江戸時代に建てられた貴重な民家「座主家」(国指定重要文化財)を見学し、当時の暮らしぶりを学んだ後「藤津比古神社」へ。清浄な境内の砂利を踏みしめ参拝。国指定重要文化財の本殿に上がらせて

いただき、宮司の尾沢清量氏よりお話を伺いました。さらには昼食のためにお部屋をお借りし

て、美しいお庭を眺めながらゆったりとした気分でお弁当をいただきました。



須曾蝦夷穴古墳にて

午後からバスは能登里山海道を走行し、旧田鶴浜町の「東嶺寺」と「悦叟寺」へ。「東嶺寺」(本堂と山門が市指定文化財)では、青々とした苔を眺めながら見事な参道と山門を通りぬけ、本堂にて檀信徒の田島久世氏よりご丁寧な解説を受けました。引き続き「悦叟寺」でも田島氏からご説明をいただき、かつて鹿島半郡を領有した長家の栄華を偲ぶことができ、とても勉強になりました。

最後は「昭和の名水百選」に選ばれた「御手洗池」と「赤蔵山」(県指定史跡)展望台へ。皆さんは歴史への関心が強く、見事な脚力で躊躇することなく展望台への急な坂道を登っておいでました。参加の方々は歴史ある七尾の魅力を再確認し、ますます七尾が好きになられたことと思います。終わりにりましたが、車中及び各施設で終始解説をいただきました市教育委員会文化課長補佐の和田学氏ほか、訪問先でご案内、お世話してくださいました皆様、本当にありがとうございます。

当館所蔵品貸出情報(10月1日現在)

- ① 洋画 「ラクリマ・クリステイ」(白い陽) 1面
- ② 洋画 「ラクリマ・クリステイ」(白い気配) 1面
- ③ 洋画 「西風の吹く頃」 1面
- ④ 洋画 「もうひとつの視線」 1面
- ⑤ 洋画 「2つの仮面」 1面
- ⑥ 洋画 「白い陽」 1面
- ⑦ 洋画 「夜想曲」 1面

※全て西房浩二作

展覧会名 「西房浩二絵画展」
会場 能登町立美術館(羽根万象美術館)
(鳳珠郡能登町字出津イ字112-15)

☎ 0768(62) 3669

会期 10月21日(火)～11月16日(日)

貸館催し物案内

市民ギャラリー

子ども「長谷川等伯展」

9月25日(木)～10月13日(月・祝)

市内の小学校児童による、長谷川等伯の水墨画作品を真似た力作が勢揃いします。本物の等伯作品の展示に合わせた初めての展覧会となつているところも今回の魅力です。是非、子どもたちの作品をご覧ください。

主催 等伯生誕の地PR事業支援委員会
連絡先 七尾市教育委員会文化課内

☎0767(53) 8437

MOA美術館七尾・中能登児童作品展

10月16日(木)～19日(日)

初日は午後1時より
最終日は午後4時まで

生命尊ぶ心、心ゆたかな人間形成を願いに、未来にはばたく子どもたちに夢と希望を与える入賞作品を展示させていただきますので、是非ご鑑賞ください。入賞者表彰式は10月19日(日)10時より美術館アートホールにて行います。

主催 (公財)岡田茂吉美術文化財団(MOA美術館)
連絡先 MOA美術館七尾・中能登児童作品展実行委員会

☎0767(53) 3914

第10回市民文化祭

第9回彩の会&写団のと展

10月24日(金)～26日(日)

最終日は午後4時30分まで

七尾市を中心に活動する洋画グループ「彩の会」と写真グループ「写団のと」の第9回合同展

で、計24人の会員は近作約80点を展示します。今年は第10回市民文化祭を記念し、画聖長谷川等伯に寄せる作品コーナーを設けますのでご高覧ください。

主催 七尾市文化協会
連絡先 彩の会 加地 求

☎0767(52) 1613

第60回記念七尾市美術展覧会

10月31日(金)～11月3日(月・祝)

最終日は午後4時まで

本年は60回の記念の展覧会となります。一般・ジュニア部門の作品を一堂に展示します。県下最大級の展覧会となり、多くの市民に美術文化にふれていただいています。未来の等伯を目指してのジュニア作品を是非ご鑑賞ください。

《入賞者表彰式》

11月2日(日)美術館アートホール

ジュニアの部 午後1時30分より

一般の部 午後3時より

主催 七尾美術作家協会
連絡先 内藤雄鵬 ☎0767(52) 4755

第71回北國写真展 七尾展

12月18日(木)～21日(日)

最終日は午後4時30分まで

今回で71回目となります。会員の方々も作品作りに自励努力しています。必ず目を見張る夢見る世界へと導かれることでしょう。是非、ご来館くださって写真芸術を心行くまでご堪能ください。

主催 北國写真連盟七尾鹿島支部
連絡先 宮崎 功

☎090432012178

アートホール

日色ともゑ&マリオネット～朗読と音楽～

10月25日(土) 開演 午後3時

劇団民藝の中心俳優として活躍する女優・日色ともゑによる朗読と、ポルトガルギター・湯浅隆とマンドリン・吉田剛士のアコースティックユニット・マリオネットによる音楽のコラボレーションステージです。是非ご覧ください。

入場料 3,000円

主催 七尾演劇鑑賞会
連絡先 浅野 ☎0767(52) 0834

七尾まだら保存伝承師認定審査会

10月26日(日) 開演 午後2時

「七尾まだら」の第4回目の認定審査会を行います。唄の部門、踊りの部門、三味線の部門、尺八の部門と各部門の審査です。ご家族様や一般の方も入場無料で歓迎いたします。

主催 七尾まだら保存会
連絡先 川本久之 ☎0767(53) 3281

映画「地球交響曲第六番」with

虚空のコンサート

11月1日(土) 開演 午後6時

第1部 雲龍&KNOB 虚空のコンサート
七尾の大地の鼓動と天空の調べをお二人の和笛とディジュリドゥが紡ぎます。

第2部 映画「地球交響曲第六番」

入場料 2,500円

主催 七尾駅前通り商店街振興組合
連絡先 須原 ☎080643816159

文化財公開 耳より情報

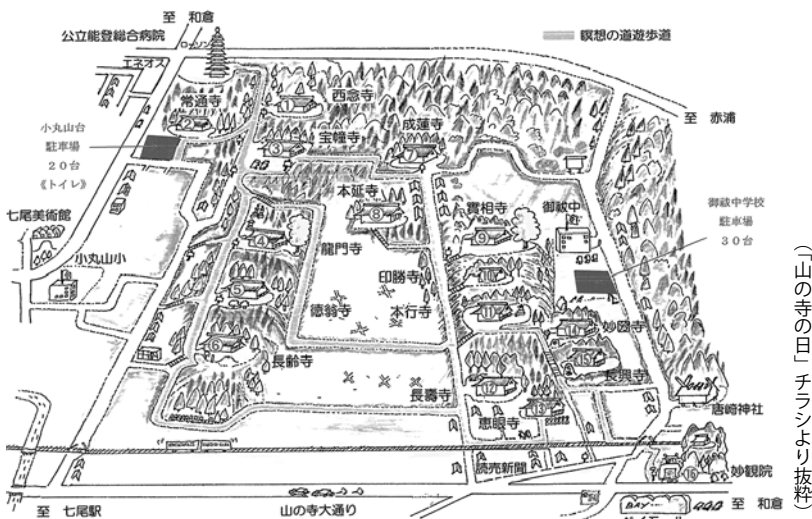
当館の近く、小島の地に所在する「山の寺寺院群」。加賀百万石の祖・前田利家が整備して以来、400年以上の歴史を持つ七尾市を代表する歴史スポットです。また、緑に包まれた地に点在する16の寺院は遊歩道などで整備され、観光地としても親しまれています。

さてこの度、11月1日が「山の寺の日」と制定され、各寺院で様々なイベントが実施されます。作家による個展や写経、飲食コーナーなど楽しそうな行事がてんこ盛りですが、注目は「寺宝一斉公開」です。

長い歴史を誇る各寺院には、数多くの貴重な文化財が所蔵されています。それらは鎌倉時代の刺繍仏や初期前田家の人びとの肖像画、そして長谷川等伯や「長谷川派」絵師の仏画など実に豪華な顔ぶれ。これら普段はほとんど観ることができない素晴らしい作品や史料が、それぞれ展示されるのです（今回が初公開の史料もあり）。

歴史ファン、古美術ファン、等伯ファンなどの皆さま、この1日限定の貴重な機会、ぜひお見逃しなく。

◆一斉寺宝公開：平成26年11月1日（土） 10:00～16:00予定◆



※本イベントの詳細につきましては、各寺院にお問い合わせください。

（山の寺の日「チラシより抜粋」）

dolce ピアノコンサート

11月9日（日）開演 午後1時30分

年に1度のピアノ発表会です。今年は日本の作曲家の曲を多く集めました。卒業生の演奏もあります。どなたでもご自由にご来場ください。保育園児から大人まで生徒さんたちが頑張って演奏します。

主催 ピアノグループ dolce

連絡先 井藤真理 ☎ 0767 (58) 1253

ちびっこ発表会

12月14日（日）開演 午前9時30分

小丸山保育園では、子どもたちの元気な姿を見ていただきたく、生活発表会を開きます。0歳児から5歳児までの成長の姿が見られると思います。保護者の方は勿論、地域の方々も是非見に来てください。

主催 小丸山保育園

連絡先 島崎 ☎ 0767 (53) 3700

喫茶室からのお知らせ

展示会を楽しんだあとは、喫茶室でゆっくりお過ごしください。

★ポローニャ展限定メニュー★

☆スイーツ

「ポローニャロールケーキセット」(各650円)

ドリンクとロールケーキのセットです。

【マスカルポーネロール】

シフォンの生地マスカルポーネのクリームを包み、ブルーベリーソースをトッピングしました。とろけるような口当たりです。

※マスカルポーネ：イタリア原産のクリームチーズ

【コーヒーロール】

コーヒー味の生地にはバニラビーンズ入りのカスタードホイップクリームを包んだ上品な味です。

☆お食事

「ポローニャ生パスタセット」(各850円)

【アマトリチャーナ】

トマトのさっぱりした酸味にチーズとベーコンの旨みが効いています。

【カルボナーラ】

チーズの旨みが効いた濃厚なクリーミーパスタです。



アマトリチャーナ



コーヒーロール



マスカルポーネロール

セットメニューをご注文のお客様には、本展出品作品をモチーフにしたペーパーコースターをプレゼント。



これからの展覧会予定



平成27年2月28日(土)～4月12日(日)

◆第1展示室 「漆芸と陶芸 ～池田コレクションを中心に～」

一般的に工芸品は、実用品に芸術的な装飾やデザインを施し、機能性と美術的な美しさを兼ね備えた工作物をいいますが、陶磁器、漆器、木工品、染色品など多種多様です。

今回はその中から陶芸と漆芸に焦点を当て約25点を紹介します。それぞれに味わい深い作品をご覧ください。



「織部松島図大平鉢」
(池田コレクション)



「堆漆菊文香合」音丸耕堂
(池田コレクション)

◆第2展示室 「石川県の彫刻作家展 ～そっくりから不思議世界まで～」

石川県内では、多くの彫刻作家たちが活動してきました。また、現在も色々な素材で、具象・抽象問わず作品が生み出されています。

本展では、そんな作家たちが作り出した作品約20点を展示します。モデルとそっくりな作品から、人間のようで昆虫のような摩訶不思議な作品まで、是非お楽しみください。



「風わたる」山瀬晋吾



「螢の光」田中太郎

【前号のお詫びと訂正】

前回発行の「美術館だより第78号(夏号)」第4ページ、「池田コレクション展」記事内の本文上段後ろから6行目「…和光紡績株式会社を…」とあるのは、「…和興紡績株式会社を…」の誤りでした。

ここに訂正して深くお詫び申し上げます。



割引、プレゼントなど特典いろいろ！
ぜひ当館でもご利用ください。



エントランスホール及びティールームにて、Wi-Fiスポットサービスの「FREESPOT」をご利用頂けます。



飛行機……羽田空港から能登空港まで約1時間、能登空港から「のと里山海道」(能登自動車道)利用約45分
車……「のと里山海道」徳田大津J.C.T.又は「能登自動車道」七尾城山I.C.より約15分
タクシー……JR七尾駅から約5分
徒歩……JR七尾駅から約20分
市内循環バスまりん号(1時間に2便 約10～15分)
……JR七尾駅前「ミナ・クル」ビル裏バス停から等伯ルート(西回り)「七尾美術館前」下車
なおコミュニティバスぐるっと7(1日4便 約10分)
……JR七尾駅5番乗り場から西コース「小丸山台1丁目」下車

◎次号・第80号(冬号)は1月1日発行予定です。

日	月	火	水	木	金	土	2014
							10
5	6	7	8	9	10	11	OCTOBER
12	13	14	15	16	17	18	
19	20	21	22	23	24	25	
26	27	28	29	30	31		
日	月	火	水	木	金	土	2014
							11
2	3	4	5	6	7	8	NOVEMBER
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	
30							
日	月	火	水	木	金	土	2014
							12
1	2	3	4	5	6	7	DECEMBER
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30	31					

◆10月～12月カレンダー◆
開館時間 ◆午前9時～午後5時 ◆※は休館日
(入館は午後4時30分まで)